

Case : 1

下に落ちたモノを拾おうとして、前方へ転落しそうになる

場面の説明

携帯電話を下に落としてしまい、フットサポートに足を乗せたまま、利用者があわてて拾おうとした



| | |
|-------------------|--|
| 利用シーン |  移動 |
| 主な利用場所 |  リビング・居間 |
| |  ダイニング・食堂 |
| |  廊下 |
| 介護保険の種目 |  車いす |
| 分類コード (CCTA95) | 122106 (後輪駆動式車いす) |
| 介護テクノロジー | — |
| 二次元バーコード |  |

解説

これは意外に多く起こっている事例です。大切なモノを下に落として慌てたのかもしれませんが、足をフットサポートから下ろさずに前かがみになったことなどが原因ですが、リーチャーなどモノを拾い上げる福祉用具もあるので、携帯していると安心です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：フットサポートから足を下ろすのを忘れていた
- 人：大切なモノを落とし、あわててしまう
- 環境：正しい動作を教えてくれる人がいなかった